



目指す生徒像

- 敬愛の心があつく心情豊かな生徒
- よく考え主体的に行動できる生徒
- 体力・気力の充実した健康な生徒

昨年11月に生徒たちが植えたパンジーが満開となっています。さて、新年度も1か月が過ぎ、生徒たちは、新たな友達や先生との出会いなど、環境の変化に一生懸命適応しようと頑張っています。

私たち教職員は、この4月から6月を、生徒が一年中で最も精神的に「揺れる」時期であり、一層のきめ細かな指導が求められると考えています。

どうか、お子様が「元気がない」「無口になった」などの変化が見られたときは、担任等に遠慮なく相談をしていただきたいと思います。今月もよろしくご支援をお願いいたします。



【満開となったパンジー】

○「全国学習状況調査」及び「とちぎっ子学習状況調査」を実施！

4月19日（火）に、3年生は全国学習状況調査、2年生はとちぎっ子学習状況調査を実施しました。生徒達はこれまで学んだことをもとに、真剣に問題に取り組んでいました。

学力は、中学生にとって進路を決定する上で重要な要素の一つであり、その向上は、本校の今年度の重要課題としてとらえています。

今後、結果を十分に分析し、指導方法の工夫改善をするなどして、学力向上に努めていきたいと考えています。保護者の皆様も、「家庭学習の充実」をよろしくお願いいたします。



【真剣に問題に取り組む生徒たち】

○PTA総会並びに全体保護者会の実施！

4月22日（金）に、PTA総会並びに全校保護者会を開催しました。PTA総会では、決算や予算と共に、大橋衛様を新会長とする人事案などが提出され承認されました。大橋新会長、これからよろしくお願いいたします。また、小嶋康正前会長には、これまでの学校への献身的な支援に対し、感謝申し上げます。

全体保護者会の授業参観では、1年生の保護者の皆様の出席率が高く、熱心に我が子の学習の様子を参観していました。

保護者の皆様には、大変お忙しいところ、ご来校いただきありがとうございました。今後とも、よろしくご支援をお願いいたします。



【たくさんの保護者の参加による授業参観】

◇ いじめ未然防止に係る学校の対策

いじめは、子どもの心身の健全な発達に大きな影響を及ぼすことがあるため、未然に防止することが何よりも大切です。このため、本校では、生徒一人一人に思いやりの心や規範意識を育て、いじめを許さない雰囲気高める取組を実施します。

- (1) 心を育てる教育の充実（今年度は、「命の授業」を実施予定）
 - ・ 道德教育の充実（特に、「生命の大切さ」「思いやり」「自他の権利」）
- (2) いじめゼロ強調月間（5月、9月）、イエローリボンの配付
- (3) 生徒会によるいじめ根絶集会の実施
- (4) 望ましい学級集団づくりの強化

いじめゼロを誓うイエローリボン



◇ いじめ等の早期発見・早期対応のための学校の取組

万一、いじめが発生してしまった場合、早期発見・早期対応することが極めて重要です。このため、子どもたちの些細な変化を見逃さず、迅速かつ適切に対応するために、次の取組を実施します。

- (1) いじめに関するアンケート（年4回）

「いじめを受けていないか」等を聞く調査を年4回実施し、いじめが確認された場合は、迅速に個別に詳細な聞き取りを行い、解消に向けた取組を実施します。
- (2) 教育相談週間（年2回の定期相談に加え、生徒の変化をとらえた相談を実施）

6月と11月に、全生徒を対象に、生徒と教員が一对一で悩み等を聞き、解決を図る教育相談を実施します。
- (3) 「Q-U」（楽しい学校生活を送るためのアンケート）

いじめの有無や集団適応状況等を客観的に把握する調査で、これに基づいた生徒の支援を実施します。
- (4) ネットパトロール（市教育委員会が外部委託）

掲示板やツイッターなどを監視し、不適切な書き込み等に対して、ネット管理者に削除要請をするもので、今年度も複数件の不適切な書き込みがあり、削除しました。ただし、LINE等の監視は、事実上困難な状況です。ご家庭で、十分な指導をお願いします！
- (5) ネットいじめの危険性の啓発
生徒集会で、専門家による「いじめ（特に、ネットいじめ等）の危険性の啓発とルールづくり」等についての講話を予定しています。
- (6) 教員による休み時間や昼休みの巡回強化



※ 「いじめ？」と思ったら……。

本人の話を聞く

- ゆっくり、じっくり、最後まで話を聴く。
⇒ まずは気持ちを受け止める。
- 味方になることを伝える。
⇒ 子どもの気持ちに共感する。
- 解決手段を一緒に考える。
⇒ 子どもの理解を得て進める。

冷静な対応

担任に話を伝える

- 子どもから聞き取ったことを伝え、関係した子どもたちから話を聞くなど、事実確認をしてもらう（**正確な事実の把握**）。
- 指導方針を聞く。
- 協働して解決を図ることを確認する。

◎ お子さんから丁寧に話を聞いたら、メンタルケアの必要性を考えて……。

いじめによる精神的ダメージはとても大きいものです。本校では、保護者の皆様との連携を図りながら、状況により心理の専門家であるスクールカウンセラー（臨床心理士）やメンタルサポーターとのカウンセリングによる「心のケア」ができるようにしています。